

9 消 防 費

1, 736, 035, 842円

項 目	ペー ジ
消防費	
防災対策費……………	547

防 災

消防費は、総合長期計画において施策が目指す姿である「どこよりも災害に強いまち」を目指し、諸計画にもとづく防災施策を推進し、災害に強いまちづくりに努めた。

1 常備消防の充実

常備消防としては、本年度も東京都に事務委託をし、東京消防庁青梅消防署を中心に多様化する災害への対応を図るとともに、防災および救急体制の充実に努めた。

2 青梅市消防団の充実

青梅市消防団においては、明星大学青梅校敷地内において、実際の火災出場を想定した、消防団器具置場からの出動（緊急走行）、想定火災現場へ到着後、水利の確保から放水するまでといった一連の消火活動訓練として、火災対応訓練を実施した。

また、任期満了に伴い、川鍋重美団長をはじめ、38名の団員が3月31日をもって退団した。

3 市民の防災意識向上

防災関係機関相互の連携の強化、防災計画の運用習熟を図るとともに、市民の防災意識の高揚等、災害対応能力の強化を図った。

また、6月25日に明星大学青梅校において第九消防方面合同土砂災害水防訓練を、8月27日に大門地区において総合防災訓練を実施した。

4 国土強靱化地域計画の改定

国土強靱化地域計画にもとづき実施される取組に対する関係府省庁の支援等と整合を図るため、「青梅市国土強靱化地域計画」を改定した。

消 防 費

1, 736, 035, 842円

○ 防 災 対 策 費 (1, 736, 035, 842円)

[防災課]

1 常備消防経費

(1) 事務委託費 1,340,818千円

(2) 青梅消防署の現況

ア 消防吏員数

(単位：人)

署・出張所	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務	合計
本 署	1	3	12	31	41	24	7	2	121
日 向 和 田	0	0	1	6	13	13	1	0	34
長 淵	0	0	1	6	7	10	1	0	25
合 計	1	3	14	43	61	47	9	2	180

(歳出 9 消 防 費)

イ 車両保有数

(単位：台)

区 分	本 署	日向和田出張所	長 淵 出 張 所	合 計
消 防 ポ ン プ 車	3	2	2	7
は し ご 車	1	—	—	1
化 学 車	1	—	—	1
救 助 車	1	—	—	1
救 急 車	2	1	1	4
広 報 車	3	—	—	3
指 揮 車	1	—	—	1
指 揮 隊 車	1	—	—	1
人 員 輸 送 車	1	—	—	1
山 岳 救 助 車	1	—	—	1
資 材 輸 送 車	1	—	—	1
消 防 活 動 二 輪 車	—	3	—	3
合 計	16	6	3	25

※ 本署救急車1台、本署消防ポンプ車1台、長淵出張所消防ポンプ車1台、日向和田出張所消防活動二輪車1台は非常用車両。

ウ 消防ポンプ車等の出動状況

(単位：延台数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
235	241	250	334	340	262	296	306	294	265	291	292	3,406

エ 救急車の出動状況

(単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
569	565	607	820	784	635	634	628	680	694	554	568	7,738

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況

(単位：件、回、人)

火 災 出 動						そ の 他 出 動		
火 災 件 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	1 回 平 均 団 員 数	団 員 1 人 平 均 回 数		出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	
60	46	1,480	32	3.1		91	2,942	

(2) 消防団員等損害補償

(単位：円)

所 属	傷病名	原 因	療 養 補償費	休 業 補償費	休 業 援護金	合 計
第4分団	蜂窩織炎	ポンプ 操法訓練	26,858	0	0	26,858
第6分団	肉離れ	ポンプ 操法訓練	13,350	0	0	13,350
第6分団	肉離れ	ポンプ 操法訓練	48,756	0	0	48,756
第8分団	TFCC症候 群	ポンプ 操法訓練	48,446	0	0	48,446
合 計			137,410	0	0	137,410

(3) 消防団員退職状況

(単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合 計
退職人員	8	9	10	9	5	1	42

(4) 消防団出初式

1月7日に、永山公園グラウンドにおいて、消防団恒例の出初式を挙行し、成績優秀な分団、部および団員ならびに消防団活動に協力のあった団体について表彰した。

また、青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

ア 市長表彰

特別功労章 青梅市消防団長 川鍋 重美

イ 団長表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
永年勤続功労章	第2分団第5部 副部長 荒井 正徳 以下 4人
表彰状および表彰章	第5分団第4部 副部長 久保田 享 以下 24人
精 績 章	第3分団第3部 部 長 向山 利彦 以下 46人
精 勤 章	第4分団第3部 副部長 内野 貴夫 以下 2人

ウ 分団表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
表 彰 状	第34回西多摩地区消防大会出場分団 第1分団、第2分団

(5) 消防団上部団体等からの表彰

ア	東京都消防褒賞	団本部 第2分団 第8分団 第1分団 第7分団	副団長 分団長 分団長 副分団長 副分団長	小林 正寿 鈴木 聡司 佐野 一寛 本橋 伸悟 中島 大輔
イ	日本消防協会定例表彰 勤続章	第5分団第4部	団員	須崎 時彦
ウ	東京都消防協会定例表彰 功勞表彰 優良表彰	第8分団 第1分団第5部	副分団長 部長	内田 貴司 河村 健志 以下9人
エ	東京都三多摩消防団連絡協議会表彰 優良表彰	第3分団		
オ	西多摩地区消防団連絡協議会表彰 功勞章 精績章 永年勤続功勞章	第6分団 団本部 団本部	分団長 副団長 副団長	根岸 克武 以下5人 小林 正寿 以下14人 小林 正寿 以下39人

(6) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額

17,411千円

(単位：人、千円)

区	分	本部	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	第6部	合計
団本部	算定人員	479	—	—	—	—	—	—	—
	金額	951	—	—	—	—	—	—	951
第1分団	算定人員	70	17	16	14	5	16	—	—
	金額	571	422	406	373	225	406	—	2,403
第2分団	算定人員	81	8	14	17	13	15	12	—
	金額	564	235	333	370	330	376	287	2,495
第3分団	算定人員	40	8	8	12	10	—	—	—
	金額	479	248	274	340	307	—	—	1,648
第4分団	算定人員	56	9	8	7	10	7	13	—
	金額	518	238	274	258	307	244	357	2,196
第5分団	算定人員	73	14	17	14	26	—	—	—
	金額	580	373	422	373	591	—	—	2,339
第6分団	算定人員	51	12	13	12	12	—	—	—
	金額	507	340	363	340	300	—	—	1,850
第7分団	算定人員	41	11	11	9	8	—	—	—
	金額	487	323	343	291	274	—	—	1,718
第8分団	算定人員	54	11	14	15	12	—	—	—
	金額	504	284	333	376	314	—	—	1,811

(7) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、円、人)

分 団	建 物			林 野			車両+その他			合 計			死 者	傷 者
	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額		
1	2	7	454,200	1	0	0	2	330	0	5	337	454,200	0	1
2	4	5	411,800	1	0	0	15	0	500	20	5	412,300	0	0
3	8	0	100,310	0	0	0	6	0	67,200	14	0	167,510	0	1
4	1	0	173,400	0	0	0	2	0	500	3	0	173,900	0	1
5	1	71	534,100	2	0	0	0	0	0	3	71	534,100	0	0
6	0	0	0	0	0	0	1	36	0	1	36	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	1	0	16,920,000	1	0	16,920,000	0	0
8	10	14	30,789,000	0	0	0	3	0	367,200	13	14	31,156,200	0	2
合計	26	97	32,462,810	4	0	0	30	366	17,355,400	60	463	49,818,210	0	5

(歳出 9 消 防 費)

イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	3	0	4	4	4	3	6	13	6	9	5	60

ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	煙 草	ガステーブル	電気配線	落 雷	仏具転倒	不 明	そ の 他	合 計
28	7	3	5	2	2	1	12	60

※ 火災原因その他内訳

研磨機、電子レンジ、レーザーメス、電気トースター、焼却火、食洗器
 ブタンガストーチ、排気管、触媒装置、車輪、取灰、投込湯沸器 計12件

(8) 消防団の活動

ア 消防団ポンプ操法訓練審査会

6月3日に、青梅市交通公園において開催された。成績は次のとおりである。

区 分	1位	2位	3位	4位
総 合	第2分団	第1分団	第8分団	
消防ポンプ車の部	第2分団	第1分団	第6分団	第8分団
小型動力ポンプの部	第8分団	第5分団	第4分団	第1分団

イ 西多摩地区地区消防大会

9月17日に、明星大学において第34回西多摩地区消防大会が開催され、小型動力ポンプの部に第1分団選抜隊が、自動車ポンプの部に第2分団選抜隊が出場し、第2分団選抜隊が第3位に入賞した。

ウ 東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修会

11月7日および8日に、群馬県伊香保町において「東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修会」が開催され、青梅市消防団から団長が参加した。

エ 消防団主要行事

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
4月	11日	西多摩地区消防団連絡協議会総会	あきる野ルピア
	19日	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	パレスホテル立川
	25日	東京都消防協会総会	スクワール麴町
5月	13日	専科教育（警防科）	東京都消防訓練所
	20日	専科教育（機関科）	東京都消防訓練所
	21～22日	西多摩地区消防団連絡協議会団長研修会	栃木県下野市ほか
6月	3日	ポンプ操法訓練審査会	青梅市交通公園
	10日	特別教育（救急科）	東京都消防訓練所
	17日	幹部教育研修（初級）	東京都消防訓練所
	25日	青梅市・第九消防方面合同土砂災害水防訓練	明星大学
7月	8～9日	団幹部研修視察	東京消防庁第六方面本部ほか
8月	5日	青梅市納涼花火大会警戒	永山公園グラウンド・市内各所
	27日	青梅市総合防災訓練	市役所、大門C等
9月	2日	上級救命講習	青梅市役所
	17日	西多摩地区消防大会	明星大学
	24日	救命ボート取扱い訓練	東原公園水泳場
10月	29日	青梅産業観光まつり（消防PRコーナー設置）	青梅市役所
11月	7～8日	東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修会	群馬県伊香保町ほか
	9～15日	秋の火災予防運動	市内全域
	12日	火災対応訓練	明星大学
	12日	専科教育（救助科）	東京都消防訓練所
	25日	団署合同訓練	立正佼成会青梅錬成道場
12月	2～3日	幹部教育研修（指揮幹部）	東京都消防訓練所
	25～31日	歳末警戒	市内全域
	30日	歳末警戒分遣所巡視	市内各所
1月	1日	初詣特別警戒	市内各所
	6日	東京消防出初式	東京ビッグサイト
	7日	消防団出初式	永山公園グラウンド
	12日	だるま市警戒	市内各所
	21日	防災講演会	青梅市役所
2月	4日	東京都消防協会臨時総会	東京消防庁消防学校
	4日	幹部教育研修（上級）	東京消防庁消防学校
	18日	青梅マラソン大会特別警戒	市内各所
3月	1～7日	春の火災予防運動	市内全域
	3日	山林パトロール	市内全域
	24日	おうめまちかどぼうさいフェスタ（消防PRコーナー設置）	わかぐさ公園

オ 備品の購入・配布状況

(ア) 消防ホース

(単位：本)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
10	12	8	12	10	9	9	8	78

(イ) 防火服

(単位：着)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
5	6	4	6	5	5	5	4	40

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月21日に青梅市役所において、防災講演会を開催した。

また、「防災とボランティア週間」期間中の1月15日から1月21日の間、市役所にて日常備蓄等に関するパネル展示を実施した。

ア 演 題 東京防災学習セミナー「関東大震災100年出前講座」

講 師 株式会社イオタ（イオタ防災総合研究所）

野呂 順正（防災アドバイザー・防災士）

イ 参加者 94人

(2) 震災および風水害等の対策

ア 災害対策用食料等の購入

(単位：箱)

施設名称	品 目				
	白 米 (50食入り)	わかめごはん (50食入り)	ビスケット (24食入り)	米粉クッキー (24食入り)	液体ミルク (24本入り)
長淵市民センター	60	30	100	2	—
友田小学校	—	—	60	2	—
第二中学校	—	—	84	2	—
御岳山地区防災倉庫	19	6	32	—	—
御岳山ふれあいセンター	5	1	26	4	—
小曾木市民センター	36	20	92	2	—
第六中学校	—	—	24	2	—
第七小学校	—	—	24	2	—
青梅市役所	—	—	—	—	25
合計	120	57	442	16	25

イ 福祉避難所開設用消耗品の購入

福祉避難所を開設する際に使用する消耗品として、簡易折りたたみベッドや事務用品を購入した。

ウ 災害時等における応援協定等の締結について

名称	締結日	締結先
災害時における要支援者の避難の受入れに関する協定	5.31	株式会社モアスマイルプロジェクト
災害時等における駐車場提供協力に関する協定	7.28	大和ハウスリート投資法人
災害時における供給支援に関する協定	12.6	佐川急便株式会社
災害時における罹災証明書発行に関する協定	12.8	青梅消防署
災害時における被災車両の移動等に関する協定	2.5	エートス協同組合

エ 青梅市における気象

(7) 降水量

(単位：mm)

観測場所	降水量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市役所	月合計	67.5	128	319	41.5	140.5	208	61	54.5	4	26	59	142	1,251.0
	日最大	29	26	152	17	61	63.5	25	32.5	4	21	30	41	—
	時間最大	15.5	7.5	25	16	13.5	23.5	6	12	1.5	4.5	6	8	—
梅郷市民センター	月合計	42	152	356.5	38	183	201	68	61	4.5	27	55.5	131	1,319.5
	日最大	19	36.5	150	24	54.5	66	26	30.5	3.5	19.5	27.5	39	—
	時間最大	5	9	26.5	24	26	16.5	6	11	1	3.5	6	6	—
御岳山防災センター	月合計	44.5	128	312	36.5	264.5	188.5	71	73	8	30	61.5	127	1,344.5
	日最大	24.5	25.5	148.5	13.5	103	57.5	29	38.5	4.5	23.5	19.5	33.5	—
	時間最大	4	4.5	27	7	33.5	11.5	7	15	2.5	4.5	2.5	7	—
小曾木市民センター	月合計	54.5	139.5	309	26.5	134.5	179.5	63.5	54	5	26	64	139.5	1,195.5
	日最大	20.5	28	128	8	39	67	27	31	4	20	31	39.5	—
	時間最大	11	9.5	22.5	7.5	19.5	14.5	7	10	1.5	4	6.5	5.5	—
第7分団 第3部2班 詰所	月合計	32.5	177.5	334	50.5	233	248	71	55.5	7.5	28	63.5	132.5	1,433.5
	日最大	19.5	35	122.5	31.5	73	75.5	24	29	3.5	21	27	35.5	—
	時間最大	3.5	28	20.5	23	32	19.5	6.5	12	2.5	3.5	6.5	5.5	—
今井市民センター	月合計	48.5	119.5	300.5	17	119.5	175	59.5	53.5	4.5	24	51.5	137.5	1,110.5
	日最大	21.5	22	143	6.5	43	61	25	33.5	4.5	20	24.5	36.5	—
	時間最大	6	6.5	22	4.5	34.5	14.5	7	12.5	2	6	5.5	6.5	—
沢井市民センター	月合計	52.5	181.5	360.5	61.5	205.5	211.5	74	72.5	9.5	34	61.5	133.5	1,458.0
	日最大	22	37.5	151.5	37	60	68	29	36.5	6	23.5	21	41.5	—
	時間最大	6.5	16	28.5	30.5	22.5	15.5	7	14.5	2	4	5.5	5	—
アメダス青梅(新町)	月合計	51.5	133.5	326.5	35	134.5	184	66.5	58.5	6.5	29.5	62	155.5	1,243.5
	日最大	23	24	162.5	16.5	45.5	63.5	28.5	38.5	6.5	23.5	24.5	41	—
	時間最大	6	6	25.5	10.5	30	16	8	13	2	5.5	3.5	6.5	—

(イ) 気温・風向・風速

(単位：℃、m/s)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
アメダス 情報	気 温	平 均	日平均	14.9	18.0	22.1	27.7	28.4	25.7	17.1	12.3	6.9	4.8	6.4	7.9
			日最高	21.3	24.1	27.0	33.8	34.1	31.1	23.2	18.4	13.6	11.5	11.9	14.0
			日最低	8.8	12.4	18.1	22.7	24.3	21.6	11.8	6.9	1.3	-1.4	1.5	1.6
	最 高	最 高	28.1	33.7	33.4	39.0	37.2	35.6	28.5	26.2	20.4	15.9	24.5	27.7	
		最 低	1.7	7.0	12.1	19.0	20.5	14.9	6.0	1.2	-4.8	-6.2	-3.3	-3.2	
	風 向 ・ 風 速	平 均	風 速	1.4	1.3	1.0	1.2	1.6	1.1	0.8	0.9	1.0	1.2	1.5)	1.6
			最 大	風 速	5.7	5.2	5.1	4.9	4.9	4.3	5.4	4.8	4.8	5.8	6.0)
	最 大 瞬 間	風 向		風 向	南南東	南	南	南南東	南	南	南南西	南	西	北西	南南東
			風 速	12.5	11.0	12.2	10.2	11.5	10.0	10.7	10.4	11.1	15.1	13.4)	15.1
	最 大 瞬 間	風 向	風 向	南	南	南	東	南	南	南	西	西南西	北西	北西	西南南
風 速															

値)：準正常値…品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合

情報は気象庁が観測するアメダス情報による。

アメダス設置場所 都農林総合研究センター青梅庁舎 (新町6-7-1)

(3) 青梅市防災会議

ア 青梅市防災会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長	11.29退任	中村洋介	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	
◎大勢待利明		11.30就任	土田大介		
道津友弘	指定地方行政機関職員	4.1就任	百瀬澄雄		
盛谷信義	自衛隊員	7.31退任	小嶋延章		
赤木優介		8.1就任	宮口泉		
小松正明	都職員		岩浪岳史		
渡部裕之			久保稔		
佐藤嘉英		4.1就任	明石吉永		
福田託也	警察官		舘盛和		
茂木猛	消防吏員	4.1就任	金子典由		
川鍋重美	消防団長		原田裕美子		
小山高義	副市長		小林弘政		
橋本雅幸	教育長		氏江正二		
高橋昌弥	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員		小花紀彦		自主防災組織代表者
森山祐二		4.1就任	加藤めぐみ	学識経験者	
上田達			大友建一郎	病院事業管理者	
富川泰介			小平久美子	市職員	
野崎啓太郎		6.26退任	中村幸子		
松永重徳		6.27就任	青木政則		
山川英男					

◎は会長

イ 防災会議の開催

月日	内容
3.11	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市地域防災計画の修正について ・青梅市防災基本条例の制定について

(4) 総合防災訓練

8月27日午前8時から大門地区において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、12組織に対し合計1,727,932円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、5組織に対し総額380,400円を交付した。

また、令和6年2月11日に地域の防災リーダーを育成することを目的とした防災リーダー講習会を実施した。

5年度は、前年度の講習会アンケート結果から、関心の高かった避難所に関することや、応急救護をテーマとして実施した。

(ア) 講習内容 応急救護・避難所運営訓練

講 師 大塚 伸之 氏（東京消防庁青梅消防署救急係長）
野呂 順正 氏（東京防災学習セミナー講師）

(イ) 対 象 者 防災士や自主防災組織等

参 加 者 36人

(6) 市内危険箇所調査

6月6日に関係官庁および消防団による市内危険箇所の打ち合わせ会を開催し、各危険箇所に関する対応を協議した。

なお、市内危険箇所は、次のとおりである。

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備 考
1	勝沼2-205-60 ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁倒壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の予 防措置が不適格と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	急傾斜地であるため、家屋へ危 険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水等 により一部崩壊しており、さら に崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区
6	今寺1-808-13 付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水お よび道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所
7	今井3-4-24付近 ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床 下浸水および工場浸水があっ た。	過去に被害が発生した箇所
8	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した 際、民間保養施設への被害が想 定される。	地形等から危険が想定さ れる箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
9	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見られ崩壊の危険がある。崩落発生の場合は、建物3棟に影響の恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域 地形等から危険が想定される箇所
10	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4~5m離れたところが垂直な崖となっており、大雨・地震等による崩落があると、人的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
11	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇所が一部崩落しており、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
12	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく 規制区域 地形等から危険が想定される箇所
13	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
14	千ヶ瀬町1丁目地内	崖線崩落	多摩川崖線が小規模崩落している。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
15	根ヶ布1-652-17 周辺	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
16	友田町2-639-7付近	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
17	日向和田3-495-10	地すべり	亀裂の拡大により、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
18	成木1丁目末成橋 付近	建物浸水 道路冠水	成木川の溢水により床下浸水および道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所

(7) 第九消防方面合同土砂災害水防訓練

6月25日午前9時30分から明星大学青梅校において、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、風水害や土砂災害などから、市民の生命、身体および財産を保護し、「風水害に強い青梅」の実現を目的として実施した。

(8) 青梅市災害時避難所等利用者補償制度

災害時に自治会館等集会施設を避難所等として開設するにあたり、設置者等の管理監督、指導誘導等の不備により、他人の生命、身体および財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負う場合ならびに施設利用者が死亡し、もしくは傷害を負った場合または特定疾病を発症した場合に補償する、災害時避難所等利用者補償制度を開始した。

保険適用件数 0件

(9) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

(単位：世帯)

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	13	6	0	16	35

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(10) ブロック塀等撤去費補助金交付

道路に面したブロック塀等の撤去を行った16件に対し、総額1,553,000円を交付した。

(11) 青梅市国民保護協議会

青梅市国民保護協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長	11.29退任	山川英男	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員	
◎大勢待利明		11.30就任	中村洋介		
盛谷信義	自衛隊員	7.31退任	野崎啓太郎		6.26退任
赤木優介		8.1就任	松永重徳		6.27就任
水谷正史	都職員	4.1就任	土田大介	知識経験者	
渡部裕之			百瀬澄雄		
佐藤嘉英		4.1就任	小嶋延章		
福田託也	警察官		宮口泉		
茂木猛	消防吏員	4.1就任	岩浪岳史		
川鍋重美	消防団長		久保稔		
小山高義	副市長		明石吉永		
橋本雅幸	教育長		舘盛和		
高橋昌弥	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員		金子典由		
森山祐二		4.1就任	原田裕美子		
上田達			大友建一郎		市職員
富川泰介			青木政則		

◎は会長

(12) 青梅市浸水予想区域図作成事業

国土交通省および都建設局が作成し示している浸水想定区域図および浸水予想区域図には、シミュレーションが実施されておらず内外水の浸水予想が示されていない区域が青梅市内に存在するため、浸水予想区域図作成業務委託を行った。

(単位:千円)

区 分	金 額	説 明
浸水予想区域図作成委託料	14,998	内外水シミュレーション業務の委託

4 消防施設維持管理経費

消火栓の設置

(単位:基)

	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
新 設 数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
撤 去 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増 減	1	0	0	0	0	0	0	0	1

5 防災行政無線維持管理経費

(1) 固定系

市内126箇所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回(4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時)のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送(火災の発生・鎮火など)を実施した。

(2) 移動系

災害時や防災訓練における情報の伝達・収集に活用した。

6 避難行動要支援者支援対策経費

避難行動要支援者名簿の平常時からの名簿提供の意思確認と名簿の更新を行った。

区 分	登 録 者 数	
避 難 行 動 要 支 援 者 名 簿	災害時	13,854人
	平常時	9,865人

7 消防施設整備経費

(1) 備品の購入・配布状況

品 名	区 分	配 布 先	数 量
背 負 い 式 散 水 装 置	更 新	第1分団第1部、ほか4部	5台

(2) 防火水槽撤去等工事

種別	工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	施 工 場 所	契 約 工 期
市単	防火水槽(丸形40m ³ 級)撤去	7,475千円	五大機工(株)	藤橋3丁目地内	7.28~11.15

(歳出 9 消 防 費)

8 急傾斜地崩壊防止事業経費

急傾斜地崩壊防止工事に当たり、東京都に対し、2地区の負担金を支払った。

(単位：千円)

名 称	金 額	市 負 担 率
河辺町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	647	10%
長淵1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	7,846	
合 計	8,493	

9 消防自動車購入経費

地域防災力の向上と団員の負担減少のため、小型動力ポンプ積載車8台の更新に向け、購入契約を締結した。